

北海道婦人防火クラブ連絡協議会 第1回委員会報告

平成23年5月20日 / 札幌市



役員の改選期でもあった委員会、会長の挨拶から議事の進行へと進められました。当日を以って会長の職を退任した東館のり子様、長い間北海道の消防・防災等へのご尽力、誠にお疲れ様でした。



長年委員に就いている「檜山管内婦人防火クラブ連絡協議会々長 / 上ノ国町婦人防火クラブ会長」の品田俊子氏。

当日、当人の委員経験と研修活動等が評価され、副会長に選任されました。

即日、役員の就任を行い、副会長の席にて委員会を取り進めました。



新会長・本間ユキ子氏（胆振地区／白老町婦人防火クラブ会長）・副会長・松浦真知子氏は留任（根室地区／根室市西厚床婦人防火クラブ会長）・新副会長・品田俊子氏（檜山地区／上ノ国町婦人防火クラブ会長）任期２年間の新役員体制として、今後の意気込み等を含めての挨拶。

この度の震災に際し、北海道婦人防火クラブ連絡協議会は、財団法人日本防火協会を通じ、東北地区の各婦人防火クラブ連絡協議会に支援金を送りました。

檜山地区といたしましては、九つのクラブより総額95,600円を支援金とし送金、今後は被災地の経過を視ながら、更なる支援を検討中であります。

昨年の秋には、北海道・東北ブロックをひとつにし、札幌の地にて大々的に開催した「研修会」、東北6県と新潟県を含む「婦人防火クラブ連絡協議会」の仲間たちの貴重な意見を聞き、「わたしたち北海道民の防災意識はまだまだだ・・・」との意見も多かったことを思い出し、今年は山形県にて開催予定だった「研修会」の開催を、どう取り組んで行くのか、開催は不可能なのか、そういった協議もなされました。

檜山管内を代表して、「北海道婦人防火クラブ連絡協議会」の副会長に就任されました品田会長様、北海道内でも災害の多い地区である檜山管内の教訓を基に、今後の活躍にご期待いたします。